

保健だより



平成23年5月25日発行

きちんと対応！ アタマジラミ

アタマジラミは、保育園、幼稚園、小学校低学年の子どもたちに多く見られます。日本では、不潔が原因となるアタマジラミの発生はありません。そのため、だれもがなる可能性があります。差別やいじめなどにつながらないように、正しい知識を持って対応しましょう。また、アタマジラミが病気を媒介することは、ありません。

アタマジラミの基礎知識

アタマジラミは頭髪に寄生し、幼虫、成虫共に吸血します。寄生されると頭部がかゆくなりますが、数が少ない場合には、あまりかゆくならないこともあるようです。

卵の大きさは約0.5mmで円形、色は少し透けたつやのある白色です。卵は頭髪の毛元にしっかりと産みつけられます。成虫の大きさは、約2～3mmで、少し透けた灰色です。成虫は1～1か月半くらい生きていて、卵は1日5～6個程度産みます。

アタマジラミを見わけるには…



卵で見わけます。卵はヘアキャスト（皮膚の分泌物）によく似ていますが、髪の毛にしっかりと産みつけられているので指でつまんで引いても、引っかかる感じがあります。ヘアキャストは、指で軽く引っばると動きます。

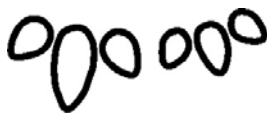
アタマジラミの卵か判断がつかない場合には、髪の毛ごと切り取ってビニール袋に入れて、保健所で見てもらいましょう。

家族がアタマジラミになった時の注意点

まずは、予防の意味も込めて子どもの頭髪を時々チェックしてみましょう。

くし、ブラシ、ヘアゴム、帽子、スカーフ、マフラー、衣類、枕などの寝具類、シーツ、ベッドを共用するとうつる可能性があるので注意しましょう。また、そのほかにもソファを介してや兄弟間で頭を寄せ合って遊んでいた

り、添い寝をしたりしてもうつる可能性があります。



～病欠状況～

5/17(火)～5/24(火)までの病欠人数は32名です。

内、嘔吐・下痢の症状がある人は3名、熱のある人は29名でした。

